



埼玉県校外教育協会
シンボルマーク

校外教育

～「郷土愛を育む」埼玉県校外教育協会～

NO.156

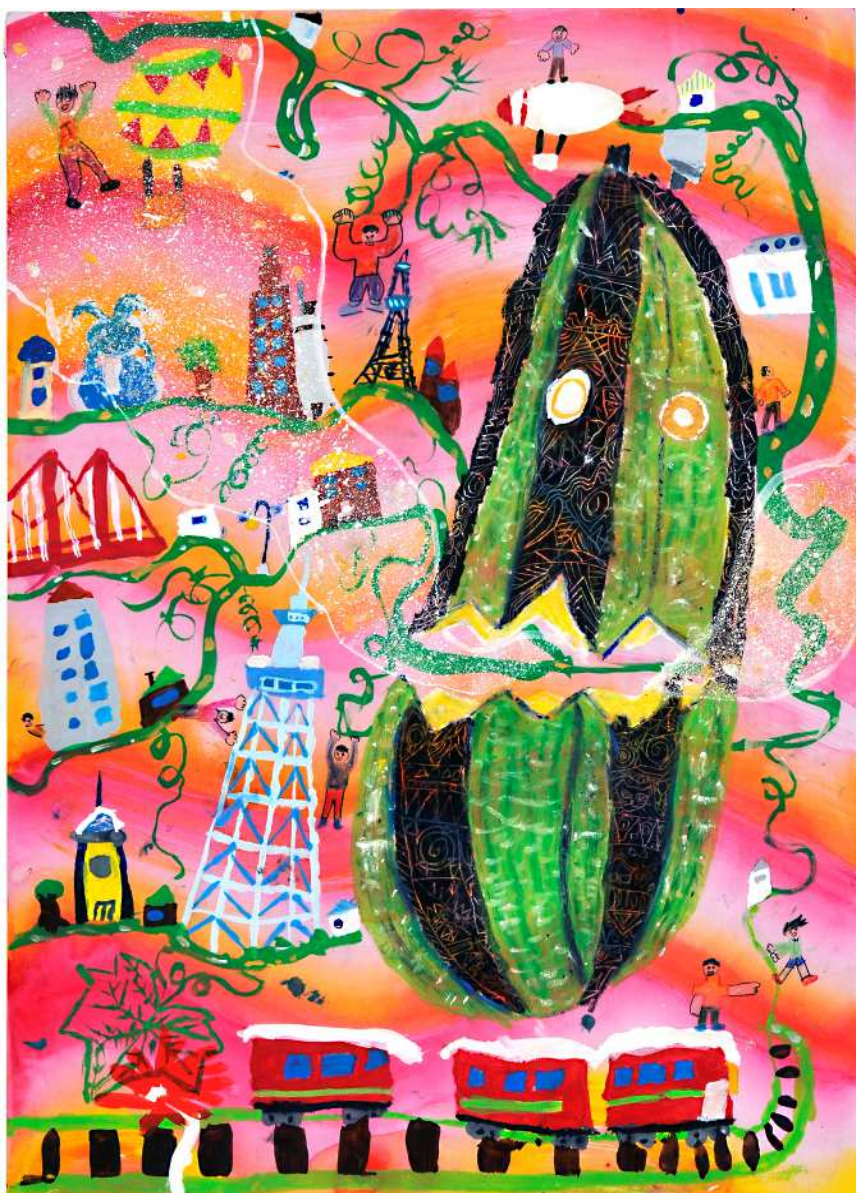
令和4年2月発行

一般社団法人 埼玉県校外教育協会

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課内
TEL：048-830-6748

ホームページ [埼玉県 校外教育](#)

特集 第56回「郷土を描く児童生徒美術展」



「レッツゴーヘチマタウン」
本庄市立本庄西小学校 4年 オチョア ジェスーさん

【作者から】

学校で育てたヘチマのつるの形がおもしろかったので、つるが道路や線路になった町を想像して描きました。いろいろな乗り物や建物があって、みんな楽しく遊んでいます。ヘチマの口から降る雪を、スパッタリングという方法でキラキラと表現しました。

【保護者から】

息子がこのような細かく立派な絵を描けるようになったことが嬉しく、彼の努力を誇りに思います。ご指導くださった先生方、ありがとうございました。今回の知事賞受賞を励みに、これから色々なことにがんばってほしいと思います。

第56回「郷土を描く児童生徒美術展」中央展覧会を終えて

さいたま市地区代表
さいたま市立片柳中学校

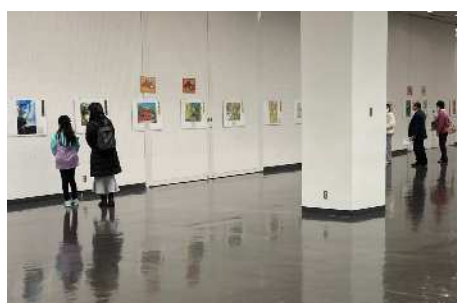
中 川 昇 次

令和3年度 第56回「郷土を描く児童生徒美術展」中央展覧会が、令和3年12月25日（土）、26日（日）の2日間にわたり、埼玉県立近代美術館を会場として開催されました。

今年もコロナ禍での開催のため、「密」を避ける対策として展示数を減らし、知事賞作品120点のみの展示を行いました。それでも、県内外各地から、2日間で713名の方々にご来場をいただき、子どもたちの絵をご覧いただくことができました。展示されている作品の前で、誇らしげに記念写真を撮られている姿を今年も見ることができました。お子さまの作品だけではなく、全ての作品を熱心に鑑賞している様子や、作品についての感想を語り合っている様子から、この中央展覧会を開催することの意義を再確認することができました。

本美術展は、県内全小中学校等の図画工作・美術科主任の先生方を中心に組織している、美術教育の研究組織である埼玉県美術教育連盟が、埼玉県校外教育協会と共催して作品審査と中央展覧会の運営を行っています。中央展覧会の審査と運営は、埼玉県美術教育連盟の5つのブロックが輪番で担当していますが、今年度は、さいたま市地区が担当をさせていただきました。

展覧会当日の様子



今回は、県内の小中学校等1,128校から49万8,448人の児童生徒の出品がありました。令和3年10月12日（火）に、さいたま市のサイデン化学アリーナで行われた中央審査会では、地区審査会で選出された1,009点の特選作品の中から知事賞作品120点を選出しました。

審査は、作者自身の思いを大切に、児童生徒の表現時の声が多く聞こえてくるものを選んでいきます。自分の考えを自分の方法で一生懸命に表現した作品は、見る人の心に感動を与えます。来場者の方々からのアンケートにも、素晴らしい絵が多く、レベルの高さに感動したとの声がほとんどでした。このことは、県内の図画工作・美術科の授業で指導する先生方の指導の賜物であると言えます。引き続き、素晴らしい作品が出品されることを願っています。

結びに、中央展覧会を開催するにあたり、ここまで、多大なるご支援とご協力をいただきました埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県校外教育協会並びに、運営いただいた美術教育連盟の皆様、さいたま市の先生方に、心から感謝を申し上げます。

小学校低学年では、子どもたちの心がこもっているものや描きたいものに焦点があっていて、喜びにあふれた形や色、想いが伝わってくる構図になっている作品が多くみられました。また、画面が魅力的なものも多くみられました。それらの作品の特徴は、子ども自身の想いから生まれたものがしっかりと描かれたものでした。心惹かれる作品は、とても個性的で背景部分に色が塗られていないとしても高く評価されていました。

低学年を指導する際に難しいのは、つくるときに助言や相談はあっても良いが、強制したり指示が強かったりしてはいけないというところです。子どもたちが次々と思いを広げられて、作品から物語をつくっていけるような指導のもとでつくられた作品がたくさん出てくることを期待しています。

知事賞作品の紹介（小学校低学年）



「げんごろうとたがめとプール」
熊谷市立玉井小学校 1年 谷 峻平さん

【作者から】

オリンピックの水泳を見て、泳いでいる絵をかこうと思いました。水の中の生きものでぼくの好きなこん虫は、ゲンゴロウとタガメです。人間が小さくなって虫たちと泳げたら面白そうだと思って、人と虫を同じ大きさでかきました。

【保護者から】

幼い頃から、絵を描くというより工作に夢中になっている姿を見ていた為、絵画でこのような素晴らしい賞を頂いた事に、大変驚いております。大好きな昆虫を描いた絵での受賞で、本人の大きな自信になったのではないかと思います。今後も、自由な発想を持ち続けられるよう見守ってまいります。

「100かいだてのいえ」
川口市立鳩ヶ谷小学校 1年 劉 悦輝さん



【作者から】

いろいろな生き物や虫がいる100かいだての家をかきました。せみの家はじゅえきがすえるように木をおきました。てんとう虫の家は、カーテンをてんとう虫のもようにしました。かえるは外に出られるようにはっぱをつけました。家のまどからにじやとりが見えて、みんなが楽しい家になりました。

【保護者から】

今回の受賞を大変うれしく思っています。絵を描き進めながら、どんどんアイデアが湧いてきて夢中で描き込んでいく、息子らしいこだわりのつまった絵だなと感じています。これからも自由な発想で色々な事に挑戦し、自分らしく表現して欲しいと思います。

【作者から】

ぼくのミニトマトの茎が折れてしまった時、支柱を立てたら元気に育ってとてもうれしかったです。思い出してたくさんの支柱を描いたら、いつのまにかみんながいっぱい、トマトがいっぱいの遊園地ができました。描くのがとても楽しくて、絵がもっと好きになりました。

【保護者から】

知事賞受賞の知らせを、家族全員大変うれしくそして誇らしく思いました。学校で一生懸命育てたミニトマトを思い出して、そのうれしさをイメージして描いた息子の気持ちが伝わってきました。これからも、想像力豊かに表現することを楽しんでほしいと思います。



「ぼくのトマトで トマトランドのでき上がり」
川口市立仲町小学校 2年 林 瀬さん



「さい玉で地下をほったら化石を見つけたよ」
毛呂山町立泉野小学校 3年 村田 朱沙さん

【作者から】

この絵をかいた理由は、もし、みんなで化石をほって、そして自分でできぞうするのが夢で、いつかなうといいなと思いながらかいてみました。知事しょうをもらった感想は、とてもうれしいと思いました。理由は、有名な場所に出されたからです。

【保護者から】

受賞連絡をいただき、みんなで喜び、感動でいっぱいでした。美術館で絵を観て成長を感じる作品、幼児期から絵を描くことが大好きで、ポイントをよくつかんで上手に描いていた頃を思い出します。受賞を自信と励みにして、今後の更なる活躍に期待したいと思います。

今年度は、例年にも増して幅広い表現の作品を審査することができました。身近な風景や慣れ親しんだ対象を深い愛情とともに描いている素朴な作品であったり、時間や空間を超えて独自の世界を創り上げている新鮮な作品であったりと、「郷土埼玉」という共通のテーマでありながら、作品の中にそれぞれの個性が色濃く表れていました。実際には見て描くことができない鳥瞰図的な構図の作品に、とりわけ高学年らしい充実した表現がありました。

審査の中でこうした視点に出会えるのも、低学年から積み上げている造形的な経験の豊かさや、各地区で行われている審査会の質の高まりがあってこそのことと思います。これらの作品を鑑賞材料として、さらなる表現の広がりにつながることを期待します。

知事賞作品の紹介（小学校高学年）



「2050年の日本列島」

入間市立東金子小学校 5年 吉田 一貴さん

【作者から】

この絵には、日本の有名な名所や名産物と宇宙から見た2050年の日本を描きました。台風や山の噴火など地球の気候の変化も描きました。知事賞をいただいて、この絵の続編も描いてみたいくなりました。先生の教えてもらったことを表現できてよかったです。

【保護者から】

知事賞受賞の連絡をいただいて、とても喜びました。父も姉も過去に郷土を描く児童生徒美術展に受賞しており、賞状を並べてお祝いしました。賞をいただいて、本人もますます絵を描くことに夢中になっています。このような賞をいただけたのも先生方の御指導があったからだと思います。感謝しております。



「ゆめの中でかがやく大木」
新座市立新堀小学校 4年 久保 晃輔さん

【作者から】

夢の中の色を想像して、中心の木は濃く、奥の木は薄く描きました。まわりの丸は、光をイメージしました。草はグラデーションをつけました。絵を描くのが好きなので、知事賞を受賞してうれしかったし、自信ができました。

【保護者から】

実際に目で見えた風景を、子供の想像力でより豊かに表現出来た絵だと感じました。ダイナミックさと繊細さを織り交ぜて、子供なりの夢の中をうまく描けたと思います。これからも、好きなことや表現力を伸ばして、彩り豊かな学校生活を送ってほしいです。

【作者から】

私は、神社やお寺が好きなのでさいたま市と言えば氷川神社と思い、描きました。

特に、あの参道が好きです。

参道を歩いていると木に囲まれて高いビルも見えません。将来も、変わらない場所であってほしいと思います。



「人の温もりを感じるあたたかい町さいたま」
さいたま市立大砂土小学校 5年 田中 琳彩さん

【保護者から】

娘は幼い頃から絵を描く事が大好きで、買い物について来るたびに、お絵かきの自由帳買って！と言われました。そうして毎日お絵かきして来たことが、今こうして知事賞を頂ける作品に仕上がった事に、大変嬉しく思います。

【作者から】

ぼくがこの絵を心を込めて描いたのは、この放送室が3年間放送委員として使った大切な場所だからです。知事賞を受賞した時は、あまりにもうれしくて声も出ませんでした。母に報告したら、ほほえみながら「よかったね。」と、言ってくれました。



「大切な思い出の放送室」
行田市立下忍小学校 6年 増田 蒼空さん

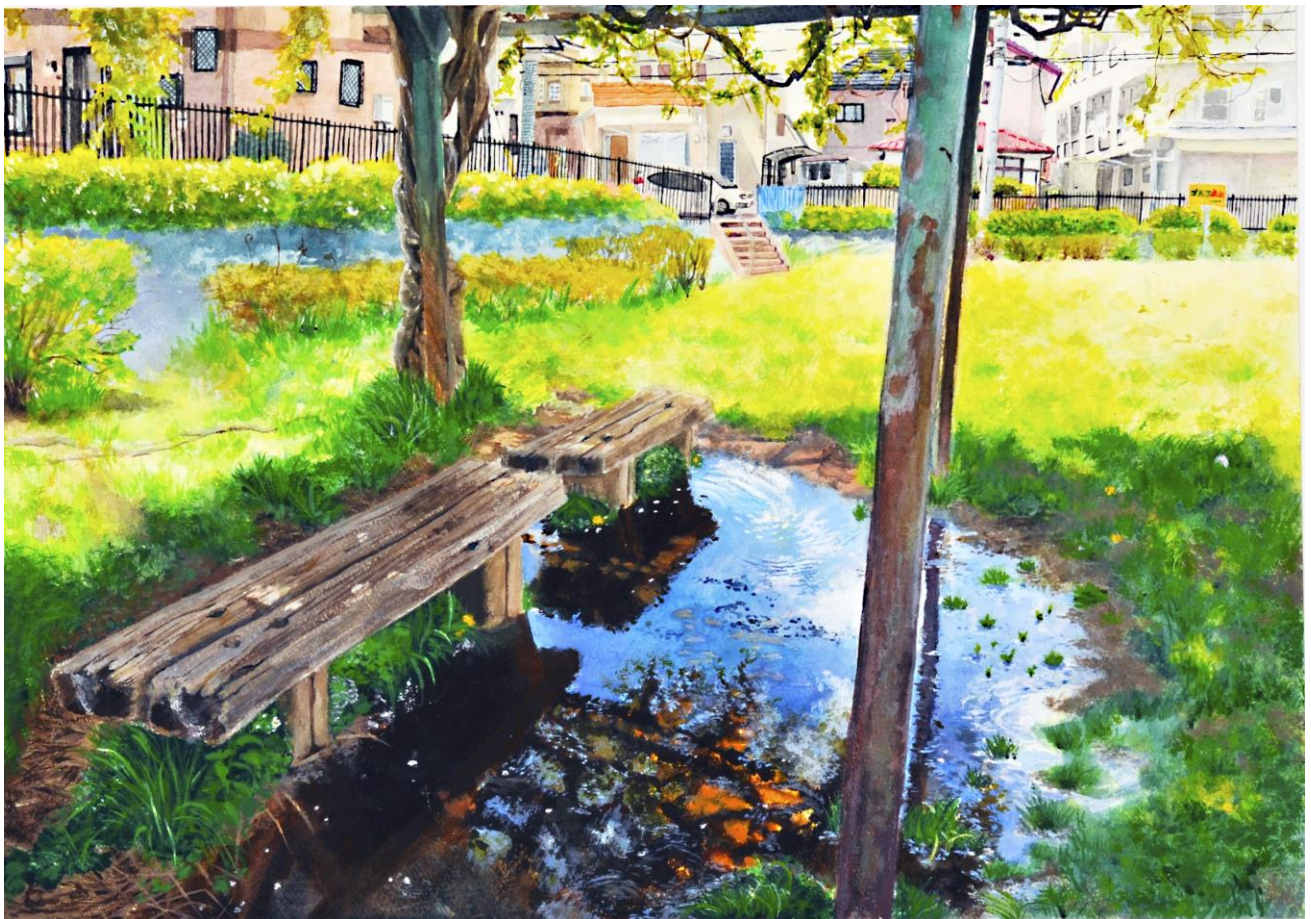
【保護者から】

大切な人との別れがあり、落ち込んでいた時、知事賞受賞の連絡を頂きました。驚きと嬉しさで家族が明るくなりました。大好きで、3年間も続けた放送委員の部屋だったからこそ、想いのこもった絵を描く事ができたのだと思います。そんな息子を沢山ほめてあげたいです。

さすが中学生、どの作品も作者のこだわりが感じられ、魅力的で見る者の心を引きつける力作揃いでした。中学1年生は、小学校から中学校へと一步前進し、技術はそれほど高くありませんが色や形に自分の思いを込めて表現しており、中学生らしさから好感が持てました。中学2・3年生は、上手く描きたいという思いが強くなる中で、色の調和を意識して自分なりの表現を追求した力強い作品が多数ありました。木漏れ日や水の感じなどを丁寧に観察し、素直に表現していました。

郷土埼玉を愛おしむ生徒たちの視点は、とても鋭く新鮮で感心しました。今後も自分の感じ方や考え方をもとに、主題を明確にした中学生らしい表現を追求して欲しいと願っています。

知事賞作品の紹介（中学生）



「雨後の日」

新座市立第二中学校 3年 山本 のどかさん

【作者から】

雨後の日に友達と行った大門公園の様子がとても美しかったので描きました。

芝の短さや、地面の枯れ草を描くのが細かく大変でしたが、粘り強く頑張りました。

水面やこの空気感が伝わって、見る人が感動してくれたらとてもうれしいです。

【保護者から】

毎年夏に描く風景画は小学生から中学生になり、夏休みの「宿題」から自分の力を発揮する「大切な機会・作品」となりました。中3の夏、娘は確かな成長を感じさせてくれました。

知事賞をいただいたことは、娘には何よりの励みです。ありがとうございました。



「燃ゆる、石上神社」
坂戸市立若宮中学校 1年 乾 那実音さん

【作者から】

時は流れ、毎日には必ず夕刻があります。その一時に歴史ある石上神社は夕日に燃ゆるのです。全てが、偉大な日光の元に照らされ影ができます。それは色を奪っていきました。その歴史ある一時を絵に焼く事で、一時の郷土を残しました。

【保護者から】

この石上神社は、小さな頃、度々散歩にも訪れたお気に入り入りの場所の一つです。同じ景色を見ていたはずなのに、このように見え、このような色で表現するのだと、羨ましく、かつ嬉しく思いました。その豊かな心と感性を大事に育ててほしいです。ご選出いただき、ありがとうございます。

【作者から】

塾へ行く途中に見た、美しい空模様がまぶしく、思わず写真を撮る程、感動しました。手前線路脇の柵を、どう奥行きに生かそうか、思った以上に時間をかけて、下絵を完成させました。細かくて、何度も絵作りに心が折れましたが、頑張ったおかげで、県知事賞がとれて、すごく嬉しかったです。

【保護者から】

写真選びに家族で付き合いました。夏休みに間に合うのか、そこを心配しましたが、力が入った、良いものが描けて、このような賞をいただきました事、感謝致します。これからも、制作にあきることなく、努力を続けて欲しいと思います。受賞、本当におめでとうございます。



「夕暮れ時の南桜井」
春日部市立江戸川小中学校 8年(後期課程2年)
倉津 冬佳さん



「裏門と木漏れ日」
深谷市立上柴中学校 3年 用皆 椿華さん

【作者から】

私が思う学校の中で特別で印象深い風景を描きました。この場所は毎年夏になると、木漏れ日によってアスファルトが点々とキラキラ輝く場所で、綺麗なので好きです。この場所の涼しさやまぶしさを表現できていたらいいなと思います。

【保護者から】

描いている最中から、完成を楽しみにしておりましたが、十分に「彼女の世界」が出来上がっていました。楽しくただただ表現していたことですが、このような賞もただ家族皆で喜んでいきます。これからも、自由に細密に、写真より気配を感じられる世界を描いてほしいです。

搬入・入選・特選状況一覧表

地 区	小 学 校					中 学 校					
	搬入 校数	参加 児童数	搬入 点数	入選数	特選数	搬入 校数	参加 生徒数	搬入 点数	入選数	特選数	
さいたま市	104	69,331	6,739	1,252	148	33	16,725	985	188	22	
南部	北足立南	130	75,072	1,440	1,267	162	57	28,239	511	511	54
	北足立北	59	25,449	2,491	492	60	30	13,419	1,191	238	27
西部	入間	159	78,400	980	884	96	53	22,800	285	255	30
	比企	40	9,613	961	194	23	18	4,932	493	100	12
北部	児玉	23	4,258	448	66	18	12	2,380	256	37	9
	大里	25	6,269	1,258	126	19	8	3,333	666	66	8
	秩父	54	17,164	1,316	422	42	29	9,245	524	228	23
東部	北埼玉	49	11,073	774	217	27	19	6,040	252	119	15
	埼玉	145	63,412	2,281	1,493	157	77	30,985	774	517	55
私立校	0	0	0	0	0	4	309	31	4	2	
合 計	788	360,041	18,688	6,413	752	340	138,407	5,968	2,263	257	

小・中学校	搬入 校数	参加児童生徒数	搬入 点数	入選数	特選数	入選・特選の総計
	1,128	498,448	24,656	8,676	1,009	9,685

※ 知事賞は特選数のうちの120点。

画集「郷土を描く埼玉子どもの絵」 第40集刊行

— 図工・美術指導教材に、学校図書館に、ぜひ1冊 —

第56回「郷土を描く児童生徒美術展」の知事賞を受賞した120点の作品を掲載した画集「郷土を描く埼玉子どもの絵」第40集が刊行されました。

今回も子供たちの個性が光る素晴らしい作品が揃いました。掲載作品には絵画を描いた児童生徒本人の「作者のこぼれ」が掲載され、子供達の瑞々しい感性を感じていただけるものとなっております。

また、専門家による鑑賞案内「子どもの絵について」や特選を受賞した児童生徒の氏名・学校名も掲載されています。

御家庭や教育現場に1冊いかがでしょうか。

お申込みは、指定教科書販売店、埼玉新聞販売店又は埼玉新聞社出版担当（TEL048-795-9936）までお願いします。





多様な絵や人に会える日

郷土愛を育む・埼玉県校外教育協会会長 村上博俊

「皆さん、**かんぱんは!**」本協会の看板は、**郷土を描く美術展**です!!
そして**埼玉の教育の看板**は、次の世代を担う**児童生徒**です。

さて、今年度、令和3年12月25・26日の「郷土を描く美術展」。私は2年続けて2日間会場に詰めました。次の対話の楽しみがあるからです。

- 1 受賞の子供たちから、工夫したこと難しかったことなどを聴く
- 2 知事賞の生徒や家族などから、喜びに満ちた声を聴く
- 3 知事賞でなくとも見に来て感動している人たちの声を聴く
- 4 美術関係者や受賞者の関係の学校関係者の声を聴く
- 5 私自身が作品と対話する

前回10月の会報で、「1万年後には外国にルーツを持つ子の特選受賞が日常茶飯事に・・・」と書きましたが、すでに多くの外国にルーツを持つ児童生徒が受賞しており、今回も複数の知事賞受賞がありました。会場で本人や家族、校長先生にも声を掛けることができました。受賞者からは「学校でのトマトの栽培を描きました。日本に来て一番うれしいです。」との声が聞かれました。



こちらは3年連続知事賞受賞者の絵です。親御さんは車いすのおばあちゃんと一緒にです。

「昨年も知事賞をいただき、ここで声をかけていただき、褒められたので、今年は淡い桜の花の表現を工夫したようです。こんな感じで描いていました。」とお父さんは、制作過程を保存した映像をスマホで見せてくれました。

こちらは、埼玉県美術教育連盟の顧問で大学の講師をしている先生の声。「レベルが高いものは、大人と変らない技術がある。授業の中でできる作品が推奨されるようなことも必要。短時間で制作しセンスある作品もあり良かった。」

授業で十分に時間が取れないこともあり、この郷土展では部活動で描いたり夏休みに描いたりした作品も許容しています。審査ではそれに偏ることなく、短時間でできた作品でも多様性のある作品を選ぶようにしていただいています。

学校では、ぜひ画集を常備して、教員研修でも学校図書でもご活用ください。

◀ (一社) 埼玉県校外教育協会について ▶

昭和35年に社団法人として設立され、**埼玉県内の児童・生徒の校外での生活の充実を図る活動の助成及び郷土を愛する運動の促進を図ることに**関する事業を行い、児童・生徒の健全な育成に寄与することを目的として活動しています。

平成25年4月1日に社団法人から一般社団法人へ移行し、会員は県内の公立小学校長804、公立中学校長413、公立義務教育学校長1、公立中等教育学校長1、市立特別支援学校長3、私立小学校長5、私立中学校長30、埼玉大学教育学部附属校(小・中・特)の学校長3、市町村長63の合計1,323名であり、事務局は埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課に置かれています。

郷土を愛する子供たちの育成に、今後とも会員(県内各市町村長・各学校長)の皆様のご理解・御協力をお願い致します。